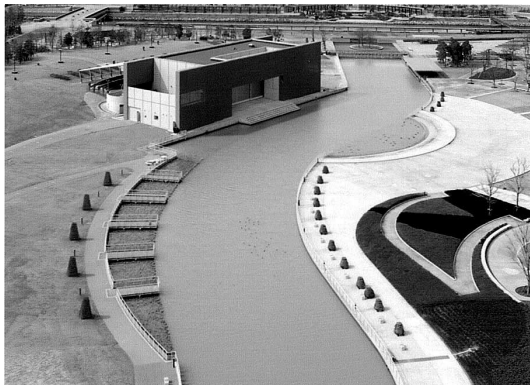


浜名湖ガーデンパーク整備事業

受賞機関 静岡県

はじめに

都市公園「浜名湖ガーデンパーク」は、静岡県浜松市西部、浜名湖に突き出した庄内半島の南端に位置しており、2004年春から秋の半年間に行われた、しずおか国際園芸博覧会 / 第21回全国都市緑化フェア（浜名湖花博）の会場として整備を進めた。



展望塔から見た園内



モネの庭

整備概要及び効果

整備計画は、都市公園で利用する施設は恒設で、花博期間のみの施設は仮設とし、植栽・環境・ユニバーサルデザイン・安全管理をキーワードとして進めた。

現地の気候・土壌への適応、周辺植生との調和、緑の演出等の観点から、珍しいジュラシックツリー等を含む約8万本の樹木を植栽し、植域全面の土壌改良、計画的な施工、樹木医等の指導、行き届いた維持管理を行った。その結果、高い活着率を保持して緑の質・量は、花博主役の6,000品種、500万株の

草花を引き立たせる役目を果たし、訪れた人々を感動させた。

地球温暖化防止に役立つ舗装として、夏の打ち水効果を利用した保水性舗装を施工した。同一公園内のアスファルト舗装との表面温度を比較すると、図-1のとおり、気温30 のとき15.4 の差が測定され、熱中症対策になった。特に、路面に近い車椅子利用者や子どもたちにとっては、その影響の軽減が図れた。

縦断勾配4%で幅広く平坦で歩きやすい園路、豊富で快適なトイレや休憩所等は好評であり、特に、オストメイトトイレは、他の公園の見本となるものである。花博中の仮設施設も恒久施設に習い、全ての施設をユニバーサルデザイン化した。

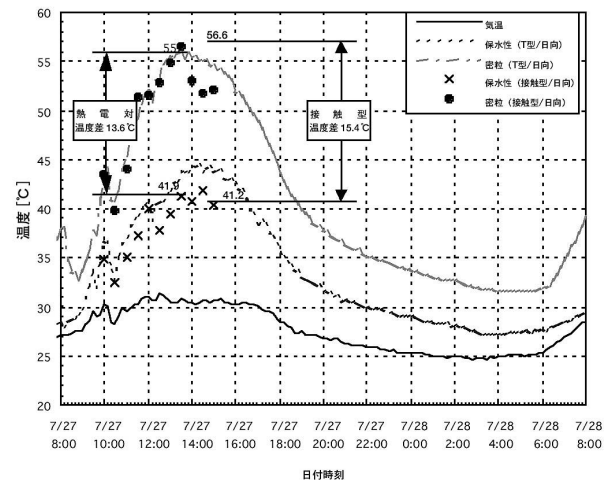


図-1 路面温度比較

代わりに

環境に配慮した保水性舗装や公共施設をユニバーサルデザイン化するなど、これらの取り組みは、すべて「富国徳の静岡県づくり」に挑戦するものである。

花博終了後は、その資産を継承して、協働、景観、産業・文化を基本方針に浜名湖の恵まれた景観や水辺環境を生かし、多様なレクリエーションの場を提供する県民参加型の県営公園として平成17年6月5日に開園した。

賛助会員 大成ロテック(株)静岡営業所